

雪中熟成トライごぼう情報

ホームページからバックナンバーをご覧ください

ファーマーズクラブ通信は、やっばし北海道の取り組みや、農業生産者会員の情報を提供する不定期機関紙です

<ファーマーズクラブ新年号の続報です>

今年の実績は、より前進させた商品価値の追求です。今年第一号のチャレンジゴボウの一回目の報告を致します。

【雪中熟成ゴボウの挑戦に、一戸農場が取り組んでいます】

今年の北海道は12月にいきなり大雪に見舞われましたが、その後降雪量も少なく暮らしとしては楽な冬となっています。例年、春には大荒れの天候もありますが今年はどうなるのでしょうか。

一戸農場では初めての挑戦で、雪の中にコンテナごとゴボウを釜倉の要領で埋めました。通常、冬の保管は冷蔵庫ですが、最近では雪室と称し雪を溜め込み空気を循環させて雪の持つ湿度と温度を活用した保存が行われています。古くは、ワラで野菜を覆い、土をかけ雪の降雪を利用し冬の蓄えをしました。今回は、直接雪を厚く被せただけの貯蔵を行っています。結果はもう少し先になりますが興味深い挑戦です。この生産者の保存ゴボウ糖度は、18.3度です(雪に埋める前)

このコンテナにゴボウを入れ雪を被せました。



雪山の下に、熟成休眠をしているゴボウです

本人は自信满满ですが、当方はやはり心配なのですが？

掘り出しは3月初旬に行い、出荷予定です。この結果は再度ご報告させていただきます。思惑通りの成果が出ましたら是非話題性を生かし取扱をお願いします。



前号でご紹介した、新年会の参加者です

生産者は栽培品目で経営の安心と安全を第一に作りなれた野菜栽培をどうしても選んで行きます。栽培循環の中で、輪作に合う野菜や、生産機材の適応野菜を選択します。このような条件の中でも販売いただくお店のリクエストに少しでも対応して行きたいと思えます。露地栽培から施設栽培まで栽培品種のご要望を是非お聞かせ下さい。美味しさと、安心をベースに有機栽培16軒、慣行栽培3軒、耕地面積650haのメンバーが取り組む、やっばし北海道ファーマーズクラブです。